

Increased expression of thymic stromal lymphopoietin and its receptor in Kimura's disease

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2016-01-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 崎谷, 恵理 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/31334

様式 (6)

学 位 審 査

学 位 番 号	乙 第 2870 号	氏 名	崎 谷 恵 理
審 査 委 員 会	主 査 教 授	吉 原 俊 雄	
論文審査の要旨 (400 字以内)			
<p>軟部好酸球肉芽腫症(木村病)は、全身に無痛性腫瘤を形成する疾患であり、耳下腺部に多くみられる。病変部好酸球浸潤と、血中好酸球と IgE 高値など Th2 型炎症を特徴とするがその発症機序は不明である。thymic stromal lymphopoietin (TSLP)、IL-25、IL-33 は Th2 型炎症を誘導するサイトカインであることが知られている。本研究では Th2 型炎症誘導や病態形成に役割を果たす因子同定のため次世代シーケンサーを用いて、耳下腺部病変に発現が亢進している遺伝子を網羅的に解析し、TSLP の発現亢進と、TSLP 受容体 (TSLPR) の発現亢進を捉えている。TSLP と TSLPR 蛋白の免疫組織化学的検討からは、木村病病変部において有意に TSLP と TSLPR の陽性細胞を認めている。蛍光 2 重染色にて TSLP は主としてマクロファージに、TSLPR は肥満細胞に主に局在していた。木村病における Th2 型炎症は、マクロファージの産生する TSLP が、TSLPR を介して肥満細胞を刺激し、誘導されている可能性が示され、本疾患の病態解明には極めて有用な論文となっている。</p>			
<p>本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に学務部医学部大学院課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]</p>			